

国民の健康を守るための

保団連禁煙宣言

喫煙は、病気の原因の中でも「予防できる最大で単一の原因」といわれ、多くの疾患の発症と関連することはよく知られています。また受動喫煙も多くの病気の原因となることが分かっています。能動喫煙や受動喫煙は避けることができる公衆衛生上最大の健康阻害因子です。

喫煙者の多くは禁煙を望んでいます。しかし、喫煙には依存性があるため、喫煙者はやめたくてもやめられない状態となっています。喫煙者は自身の意思に反して、自身の健康を危険にさらし、周囲に受動喫煙の被害を与えざるを得ない状況に追い込まれているのです。

保団連は、医学的事実を踏まえ、喫煙により生じる病気の予防と治療のため、禁煙を推進する社会的環境を形成する必要性を認識し、ここに禁煙宣言をおこなう。

